

二〇一三年度
時間学アフタヌーンセミナーin東京

時日 間記と

平安女流日記文学のひとつ、『蜻蛉日記』。
それはまた、時間を書きとめるための
方法でもあった。
時間学による新たなアプローチで
『蜻蛉日記』を読み直す。

2013
9/14
[土]

13:00-16:00 (開場12:30)
キャンパス・イノベーションセンター東京
(JR田町駅下車徒歩1分)

入場無料
《予約不要》

定員 100名

講演

大内英範 准教授 (筑紫女学園大学文学部)
「蜻蛉日記の時間意識」

宮崎莊平 客員教授 (山口大学時間学研究所・新潟大学名誉教授)
「日記文学における時間叙述」

主催 山口大学時間学研究所

共催 日本時間学会

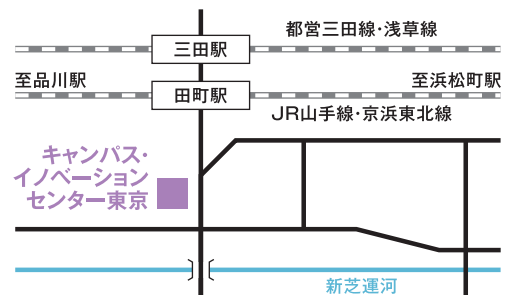
コーディネーター 森野正弘 准教授 (山口大学人文学部)

お問合せ 山口大学時間学研究所

[tel] 083-933-5848

[E-mail] jikann@yamaguchi-u.ac.jp

[HP] <http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp>



概要

平安時代に隆盛を迎えた女流日記文学。なかでも『蜻蛉日記』は、女性作者による初めての日記文学として文学史に名が刻まれています。その作者である道綱母は、日記という形態を用いることで、いかなる時間を書きとめることに成功したのでしょうか。時間意識と時間叙述という二つの観点から『蜻蛉日記』を読み直し、そこに記された時間についてディスカッションをする予定です。

講師紹介



「蜻蛉日記の時間意識」

大内 英範 准教授（筑紫女学園大学文学部）

専門は日本文学（中古）。『蜻蛉日記』の叙述分析や、『源氏物語』の本文について研究。専門論文のほか、著書に『源氏物語鎌倉期本文の研究』（おうふう）。



「日記文学における時間叙述」

宮崎 莊平 客員教授（山口大学時間学研究所・新潟大学名誉教授）

専門は日本文学（中古）。平安女流日記文学の各作品について主題を追究。また、『成尋阿闍梨母集』や『紫式部日記』の訳注（いずれも講談社学術文庫）も手がける。著書に『女房日記の論理と構造』（笠間書院）、『王朝女流文学論攷』（新典社）など。

コーディネーター



森野 正弘 准教授（山口大学人文学部）

専門は日本文学（中古）。『源氏物語』をはじめとする平安文学の音楽描写や時間構造について研究。

時間学アフタヌーンセミナー in 東京 2013 プログラム

12:30	開場
13:00-13:10	開会 主催者あいさつ
13:10-14:10	講演 「蜻蛉日記の時間意識」 大内 英範 准教授（筑紫女学園大学文学部）
14:10-14:20	休憩
14:20-15:20	講演 「日記文学における時間叙述」 宮崎 莊平 客員教授（山口大学時間学研究所・新潟大学名誉教授）
15:20-16:00	パネルディスカッション
16:00	閉会